

令和4年度 決算審査特別委員会



もっと活用して

税とくらし

決算審査特別委員会を9月7日に開きました。
この委員会は、議長と議会選出の監査委員を除く議員全員で構成し、町長をはじめ関係職員の出席を求め、各会計の決算について、慎重に審査しました。
その結果、全ての会計について全会一致で認定するべきものと決定しました。
併せて、委員から提出された附帯決議案を全会一致で可決しました。(4ページに関連記事)

Q 収納率が上がったが滞納整理をどれくらいしたか。

A 差し押さえが100件で約1千万円程度。

Q 日浦山登山バジルの活用数は。

A 1000個作成し225個活用した。

Q 紙媒体の「広報かいた」を配布していない世帯数は。

A 約2000世帯。

Q 防犯灯LED化で消費電力はどれくらい削減されたか。

A 1年間で17万7千キロワットアワー削減された。



新しく設置したカーブミラー

Q カーブミラーの新設箇所は。

A 南幸町と寺迫1丁目。

Q 海田東地区拠点整備に関するアンケートやヒアリングで複合化施設についての要望などはあったか。

A 複合施設について触れておらず、要望もなかった。

健康と福祉

Q 児童虐待防止対策としての安全確認業務は行ったのか。

A 職員が安全確認を行った。

Q 児童虐待・DV防止対策でメモと付箋を配布したが効果はあったのか。

A 虐待通告が増えた。



1年以内に申請を

Q 老人クラブ会員減少の対策は。

A 広報紙で会員を募集し活発化させる。

Q 児童クラブ運営費などで大幅な不用額が出たのはなぜか。

A 入会者が見込みを下回ったため。

Q 自殺対策ネットワーク会議はどんな意見が出たのか。

A 町職員に対してゲートキーパー研修を実施することなどの意見が出た。

Q 運転免許証自主返納高齢者の支援は。

A 返納日から1年以内に申請があれば、広島県交通系ICカードまたはタクシー利用助成券のいずれかを支給した。

まちづくり

Q 橋りょう費の不用額の内訳は。

A 唐谷橋と畑の谷橋の入札執行残。

Q インフラ強靱化工事を含め、

西日本豪雨災害復旧が終了していない箇所は。

A 畝の森川（河川改修）と三迫の出合橋付近の道路の2か所



令和4年度はここを整備しました

Q 放置林整備事業費が前年度から減額となった理由は。

A 放置林整備だけでなく、他の森づくり事業にも支出したため。



相続についての講演会でした

教育

Q 空家等対策事業の内容は。

A 講演会（参加者26名）、町広報紙での啓発と近隣からの苦情対応による持ち主への連絡文発送を行った。

Q レジャー農園使用料収入は何に支出するのか。

A レジャー農園の除草シートや区画明確化のための杭、ロープなど。

Q 町の刊行物売払収入の内容は。

A 町史やふるさとマップ、町のカルタなどの売払による収入。

Q 中学校競技力等向上対策事業

として専門的な技術指導力を備えた地域の指導者を配置した人数は。

A 海田中学校の陸上部、剣道部、家庭科部及びバスケットボール部、海田西中学校の野球部と茶道部に1名ずつ。

Q スポーツ推進

委員協議会の

事業はニュースポーツの推進だけか。

A スポーツ大会

の企画・運営や町内で実施のスポーツ大会などの運営補助を行った。

Q 放課後子ども

教室の開催場

所は。

A 定期プログラ

ムは、ひまわりプラザ・福祉センター・

町民センター・各小学校。学びの広場は、各児童館。

Q 小学校の遊具について専門業者

による点検を行ったとあるが点検方法は。

A 目視と工具を使い音による遊具の劣化の点検を行った。

Q 改修や新設はなかったか。
A なかった（令和5年度は実施予定）。



安全点検はしっかりと